

# サポートセンター通信

No. 98



発行日：2022年8月15日 第98号

発行元：松本市市民活動サポートセンター  
〒390-0874 松本市大手 3-8-13  
松本市役所大手事務所 2階

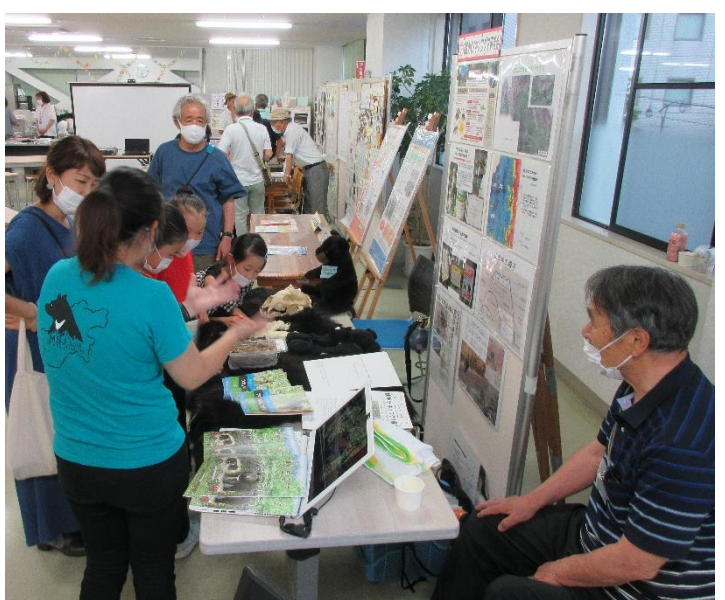
TEL/FAX：0 2 6 3 - 8 8 - 2 9 8 8

Mail：support-center@support-center.jp

URL：http://www.support-center.jp



## 市民活動 フェスタ 2022





【前頁の記事】実に4年ぶりとなる「市民活動フェスタ」は、27団体が参加して去る7月2日（土）と3日（日）の2日間に渡り市民活動サポートセンターと隣の大手公民館で開催され、様々な展示や発表、ワークショップ、交流などが賑やかに行われました。会場で参加された団体も、久しぶりの開催で顔なじみの方々との交流に笑顔が満ち溢れていました。また、今回は2会場を使つての開催だったため、それぞれの会場を回つた方に景品をプレゼントしたり、運動系の団体が公民館大会議室で初めて演技や体験（新体操、ボッチャ）を披露するなど新たな取り組みも行われました。

今回のフェスタは、リアルな現場（会場）とインターネットでのオンライン動画配信というハイブリッドでの開催が特徴です。特に、新型コロナの影響や施設入所者、猛暑対策など様々な事情で会場に来られない方にも視聴したり間接的に参加していただける方法として動画（YouTube）の配信を実施しました。お陰で各団体の活動紹介（11団体）や告知動画、当日のライブ配信など2日間で約300人の方から視聴していただき、7月8日現在では、31の動画を約2,000人の方からご覧いただいております。

それと同時に、今回のフェスタのキャッチフレーズでもある「あなたの知らない市民活動！…来て！見て！聞いて！触れて！」のとおり、現場会場でリアルな体験や発表・展示などを、来て見て聞いて触れていただくこともできました。2日間の延べ来場者数は、カウンター統計で585人でした。

また、屋外では、特別企画として「庄内ほたる観察会」が、7月2日の夜、親子連れなど約150人が参加して、紙芝居や草笛教室、ほたるの学習と観察会が庄内北公園水路で行われました。

このフェスタにご来場またはご参加された多くの皆様、猛暑のなかお越しいただき本当にありがとうございました。

## 『市民活動セミナー』を開催しました♪

昨年度、新型コロナの影響で開催できなかった、市民活動セミナーを下記の日程で開催しました。

【日程】（時間はどの回も19:00～21:00、会場は市民活動サポートセンター）

- ①5月18日：クラウドファンディング講座 講師：遊覧潜水 波多腰 遥氏
- ②5月25日：Instagramを活用した情報発信講座 講師：Skima 信州 代表 山本 麻綾氏
- ③6月1日：第1回ファシリテーション入門講座 講師：NPO 法人 SCOP 北村 大治氏、青木 美紅氏
- ④6月8日：第2回ファシリテーション入門講座 //

今回のセミナーは、最近の市民活動やビジネスなどに役立つ内容とし、特に若い世代からの参加も促すため、若者に関心が高いSNSやDXに絡めたテーマを意識して選考しました。

第1回の「クラウドファンディング」や第2回の「Instagram」は、ビジネスシーンでも拡散ツールとして活用されています。第2回の講座では、参加者が自身のスマホを使って実際にInstagramアプリに触れながら体験的に学習しました。

第3・4回の「ファシリテーション」は、前2回と対をなす実際に対面して行われるいろんな会議や議論をする場で合意形成をするためのスキルを身に付け、会議などをスムーズに運営するための方法を学びました。参加者は、グループワークによるファシリテーターの体験をとおして、より実践的な学びができました。

4回のどの講座も20名の定員に対してほぼ満席で、参加者は、学生や若手ベンチャー企業の方など若年層が散見され、盛況のうちに終了しました。



ファシリテーション入門講座

## 信州自遊塾

代表者：松本 猛  
TEL：090-4911-8209  
Mail：info@jiyujuku.org



**\*第31回講座の様子**  
「マサイ族に学ぼう〜アフリカの大地からマサイの戦士がやってくる」

信州自遊塾は2011年3月11日、東日本大震災で起きた原発事故を契機に、経済成長と効率を追い続けてきた社会のあり方を問い直し同年の7月に発足。今年で活動11年目となります。今回は、事務局メンバーのひとり、松本照喜さんにお話をうかがいました。

人間の暮らしが便利になるようにと文明を発達させてきた社会が本当に人間の幸せにつながるのだろうか？今の社会にただ身を任せるだけでなく、自分たちの生活や生き方を見直そうというのが活動の原点です。

『これからの人間の生き方を考えよう』とテーマを掲げて、自然、歴史、農林業、教育、医療、平和、差別、エネルギーについてさまざまな角度からこの問題を考え取り組んでいます。信州自遊塾は誰もが参加でき、楽しく、考え学ぶ場です。各テーマの講座や活動を展開し、専門家による講義で深く分かりやすく、これからの自分たちの生活や考えに反映できる機会となっています。また、小旅行講座（現地に行き実際の声を聞く講座）も行っていますがコロナ禍以降は自粛中です。

「普段の生活ではただ毎日が忙しく過ぎていきます。この活動を通じて人や自分の生き方、生活をどうしたら

良いのか、考え直すきっかけになっていると思います。例えば、購入するエネルギーを再生可能エネルギーに変えようと考えたり。また、普段なかなかうかがえない人から、一緒に考え学ぶネットワークづくりや出会いも広がりました。」と松本さん。

信州自遊塾の各講座はだれでも受講することができ、会員になるとその年の講座を無料で受講することができます。会員ホームページからも登録することができます。「関心のあるテーマのときだけでも気軽にいらしてください。企画運営にも興味のある方がいらしたら、ぜひ一緒に活動していけたらと思っています。」

自分たちの身近な生活や社会の問題に対して考え、学び、問い直すきっかけに、講座を受講してみたいかでしょうか。（海口）

追記：【次回開催予定の講座】

信州自遊塾10周年記念講座第2弾「SDGsってなあに？—大学生と考える 食、移動手段、脱プラスチック、住まい」

※詳細はイベント情報覧にてご確認ください。

## 松本まるごと博物館友の会

代表者：川船 義嗣  
TEL：0263-32-0133  
Mail：mcmuse@city.matsumoto.lg.jp



**\*令和4年度バス研修会の様子。**  
「城光院の石造十王像」

『松本は屋根のないまるごと博物館！』

お話しをうかがったのは、事務局として友の会の活動を支えていらっしゃる松本市立博物館にお勤めの原澤さんです。

松本市は、市内全体を屋根のない博物館ととらえて、各博物館と地域の自然環境や文化遺産を結ぶ「松本まるごと博物館構想」を策定し、この構想を実現するため博物館が好きな方や、松本をもっと知りたい方を募り、市民の方の協力を得て平成16年に友の会が設立されました。

研修会として春と秋に県内の博物館施設の見学や会員の中から講師を募りリレートーク、「井戸端よもやま話」と題してテーマに沿った座談会などを年に数回開催し松本の歴史にふれる機会を作り、また個別に部会をつくり部活動のように興味のあるところで知識と親睦を深める活動も行っているそうです。

博物館のイベント開催の際には様々な協力をいただき、松本市立博物館が閉館になる前までは新春無料開放の折に、根付やだるまを配るなどしていただいていた。しかし、設立当初より会員の方が減少してきているので、新しい博物館ができる事を機に新しい活動、イベントの宣伝をしながら会員を増やしていきたいとお話されて

いました。今は理事会にあわせてイベントを開催していますが、リレートークを年3回は開きたいとのこと。会報では今後会の日々の活動や松本の歴史文化の紹介をしていきたいそうです。

なんと松本には16カ所も博物館があります。会員の特典として松本市立博物館や国宝松本城の入場料が免除になるなど、松本が好きで興味のある方にはとても嬉しいことではないでしょうか。ご興味のある方は、一緒に博物館づくりに汗を流してみたいかでしょうか！

博物館のホームページも学芸員さんのコラムなど楽しく見させていただきました。来年秋に博物館がオープンするまではこちらをのぞいてみるのも興味深いです。

そういえば祖父は高砂町の人形屋さんから頼まれて板で作った七夕人形の顔を描いていました。ほほ紅を塗り、髪飾りを描いている祖父の手元を見ているのが好きでした。そして、7月の終わりごろになると七夕人形に姉か叔母が着た七五三の着物や浴衣を着せて縁側に飾り、7日の七夕にはあんこときなこのほうとうを食べたなど遠い記憶を思い出しました。（丸山）



## ■イベント情報

### 【信州自遊塾 10周年記念講座第2弾】

「SDGsってなぁに? 一大学生と考える 食、移動手段、脱プラスチック、住まい」

大学生の提言と、環境社会学、環境エネルギー政策が専門の信州大学准教授らによるスピーチ。

- ◆日時：10月15日(土) 13:30~16:00
- ◆会場：松本市中央公民館 (Mウイング) 6階ホール
- ◆参加費：信州自遊塾会員・大学生以下・オンライン参加は無料、一般は500円
- ◆問合せ：信州自遊塾  
TEL：090-4911-8209 FAX：0263-84-5611  
HP：http://www.jiyujuku.org

### 【色育(いろいろ)体験会 色育ってなぁに】

色で集中力・想像力・コミュニケーション力UPの色育体験 & 物忘れ予防の活用をご一緒に!

人にはそれぞれの色(個性)があります。比べるのではなく自分を認め自分自身を信じること(自己肯定感)やお互いを尊重することを体験してみませんか?

- ◆日時：毎月第3日曜日 10:30~11:30
- ◆会場：松本市市民活動サポートセンター
- ◆参加費：大人 500円、子ども 200円
- ◆主催/問合せ：(社)日本色育推進会 長野色育会  
TEL：090-4153-5693

### 【令和4年9月 塩尻市主催「ぱそこん基礎講座」】

○インターネットにチャレンジ

日時：9月5日、6日 10:00~12:00

参加費：受講料 1,200円、テキスト代 300円

○インターネットを安全に使う

日時：9月12日 10:00~12:00

参加費：受講料 600円、テキスト代 150円

◆会場：塩尻市市民交流センターえんぱーく 2F ICT ルーム

◆申込み：特定非営利活動法人グループ HIYOKO

Email：pchiyoko@ghiyoko.net

◆問合せ：塩尻市市民交流センター

TEL：0263-53-3350

(平日 9:00~19:00、土日祝 9:00~17:00、水曜休館)

◆講座日程：https://www.ghiyoko.net/lesson\_sch.html

### 【「どう生きるか?」をどう考えるか!という教室】

中高生のみなさん、こういう話をしてもらっていますか。大人の皆さん、こういう話を中高生にしてあげていますか。現代は難しい時代です。これからもっと難しくなっていくでしょう。そんな中で、“将来を考えろ”、“進路を決めろ”などと言われても、何をどう考えたら良いのかわからないのが普通です。

「やりたいことなんて無い。どうしたらいいのかわからない」

「将来に対してモヤモヤしている。スッキリしたい」

お茶でも飲みながら、一緒にかんがえましょう。

- ◆日時：9月25日(日) 16:00~19:00
- ◆会場：松本市市民活動サポートセンター
- ◆参加費：もちろん無料
- ◆問合せ：「メシが食える大人」を育む会  
TEL/FAX：0263-40-2040

## ■サポートセンターより



### プラチナサロン 9月

日時：9月8日(木) 10:00~12:00  
内容：里山の楽しみ 身近な毒草  
講師：上條恒嗣さん(プラチナサポーターズ松本)  
会場：市民活動サポートセンター  
対象：おおむね55歳以上  
参加費：300円

### プラチナサロン 10月

日時：10月13日(木) (時間は未定)  
内容：シニアのためのスマホ教室②  
講師：ソフトバンクアドバイザー  
場所：市民活動サポートセンター  
対象：おおむね55歳以上  
参加費：300円

### プラチナサロン 11月(予定)

日時：11月11日(木) 10:00~12:00  
内容：チンチン電車沿線の歴史散歩⑧  
講師：臼井光裕さん(プラチナサポーターズ松本)  
場所：未定  
対象：おおむね55歳以上  
参加費：300円

## 編集後記

最近“Z(ゼット)世代”という言葉をよく耳にします。おおむね1996年から2015年にかけてIT全盛期に生まれ、スマホやSNSが当たり前の環境で育った世代を言うのだそうです。思い起こせば、初めて私がインターネットに触れたのは、今からおよそ三十数年前、当時まだパソコンにはネットワーク機能が備わっておらず、UNIXマシンという高価なマシンを使ってEメールを打った時でした。幸いなことに、大手電機メーカーに勤めていた私の職場にはそのマシンがあったのです。初めてのEメールは米国サンディエゴに社費留学中の職場の先輩に宛てたものでした。もちろん日本語は使えず、つたない英語と一部ローマ字のメールです。そして、地球の裏側から初めて返信が届いた時の感動は今でも忘れ得ません。まさに現代のITの発展を思うと隔世の感があります。

「まったく最近の若い者は…」とは、世代を超えた常套句です。しかし大谷翔平選手や藤井聡太棋士の活躍は、データ解析やAIなど、ITの並走と無縁ではないはず。“人類は環境に適応しながらたえず進化し続けている”、そんな楽観的進化論を、信じてみたい今日この頃です。(ご挨拶が遅れましたが、5月から新規にコーディネーターを務めます永田近彦です。よろしくお願いたします)